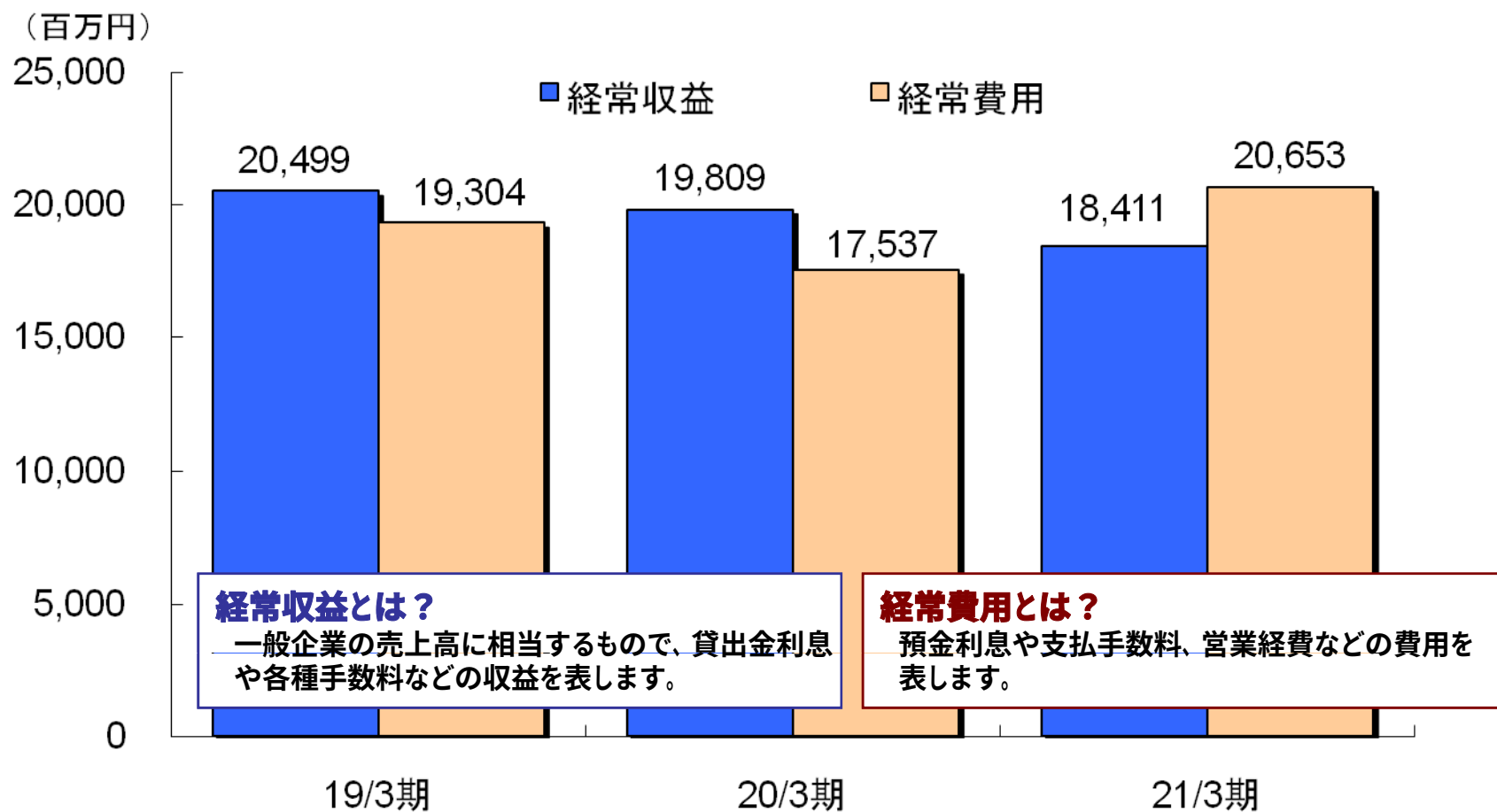


// 平成20年度の業績

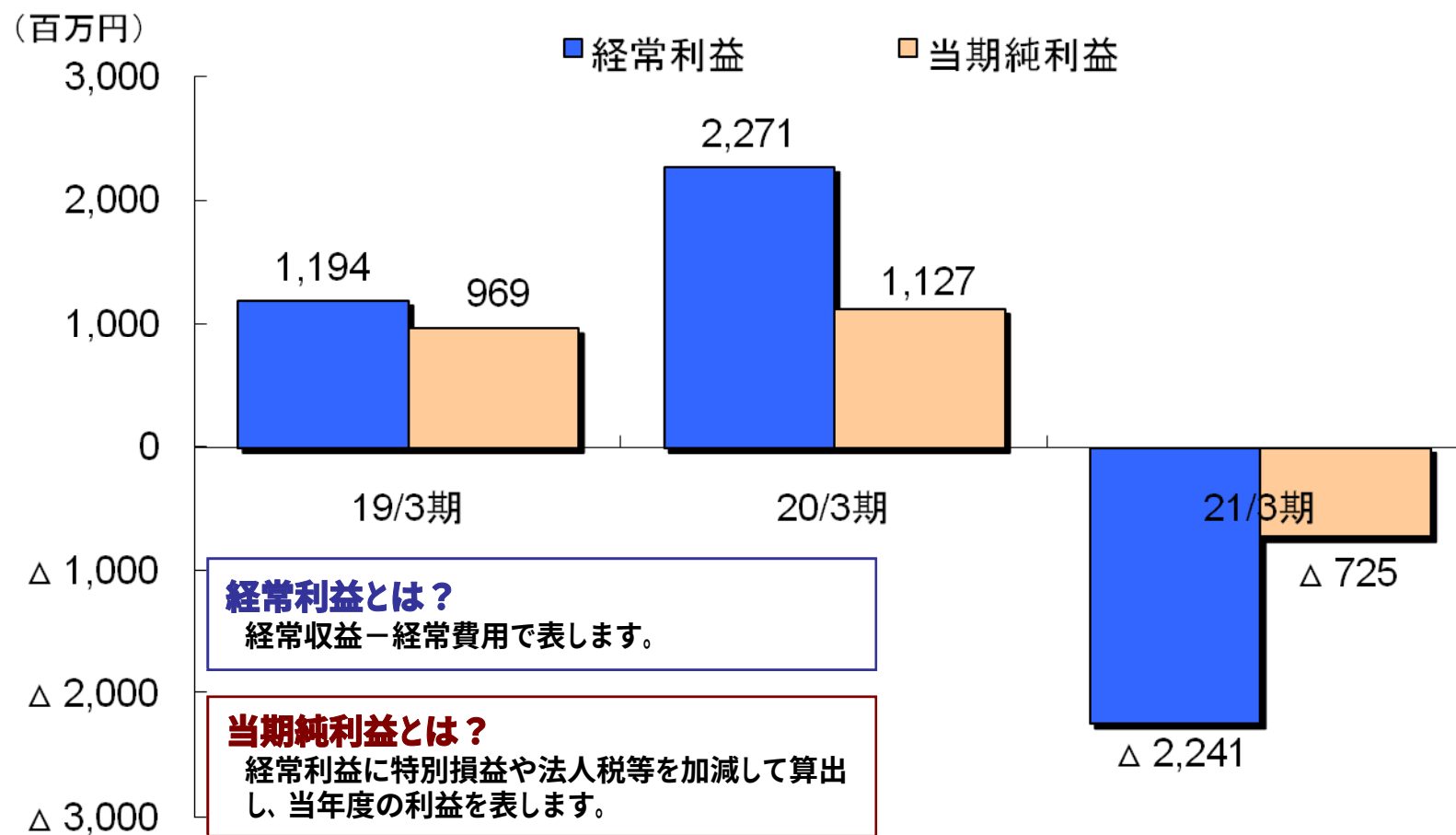
決算概要① (経常収益・経常費用)

- 経常収益は貸出金利息や手数料収入等の減少により前期比△1,398百万円減少
- 経常費用は有価証券の減損処理を実施したことなどから前期比+3,116百万円増加



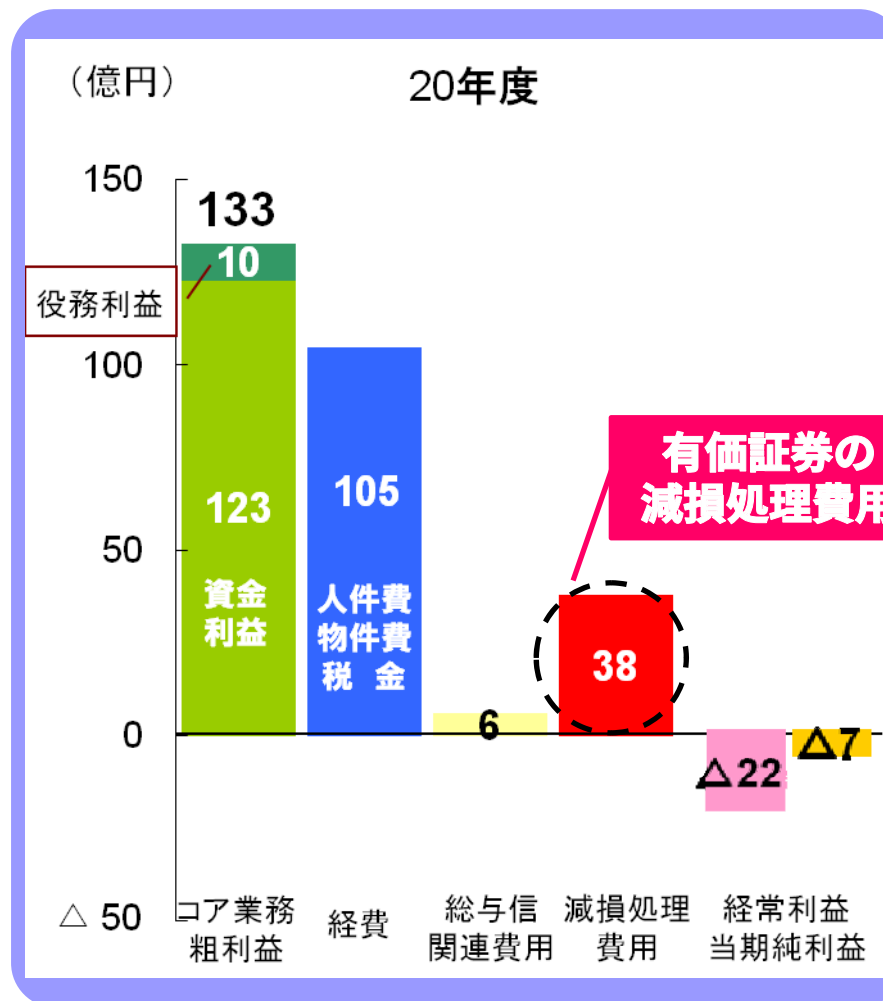
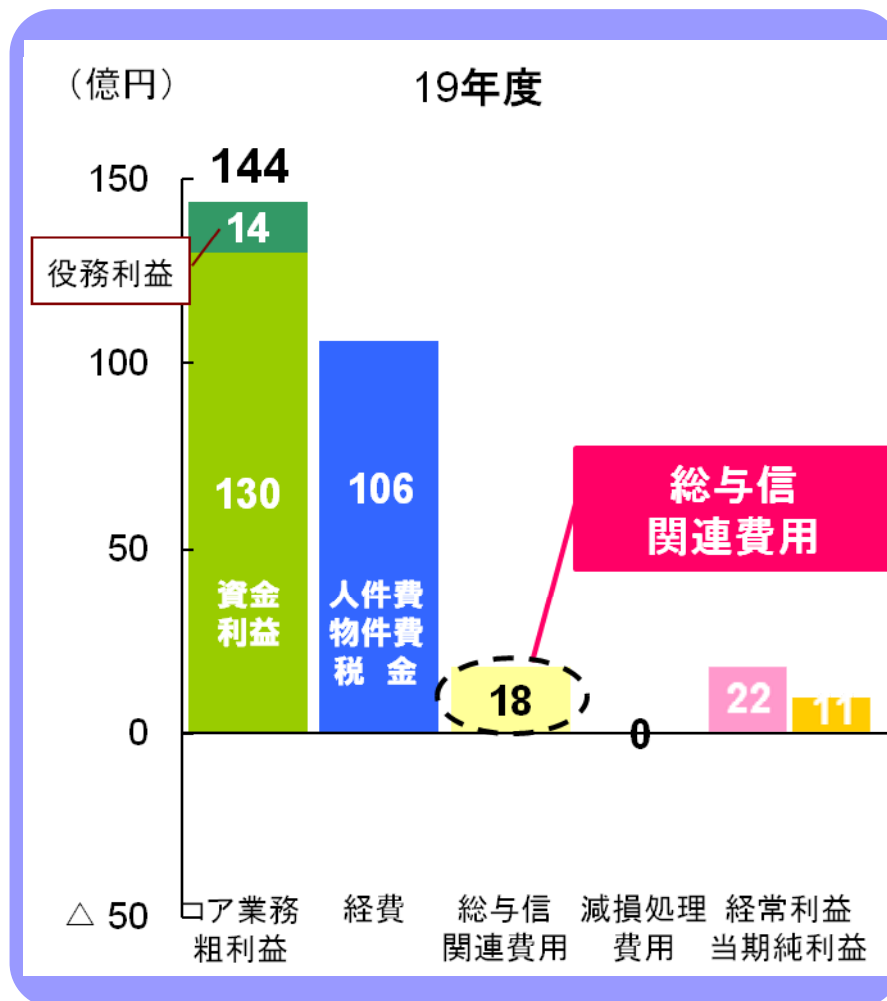
決算概要② (経常利益・当期純利益)

□経常利益・当期純利益とも損失計上



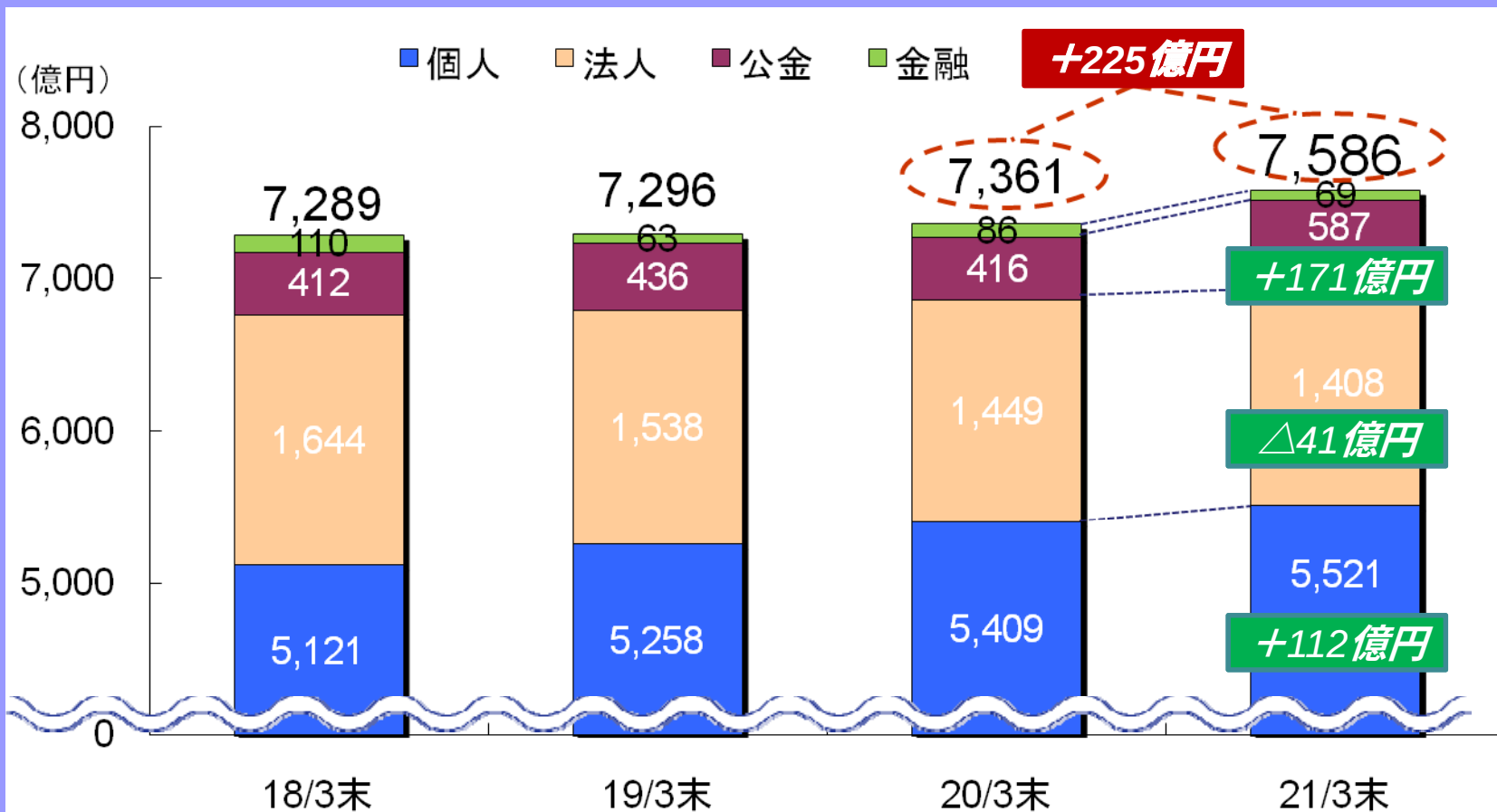
損失計上の要因

- 資金利益・役務利益の減少分を総与信関連費用の減少でカバー
- 市況悪化に伴い有価証券の減損処理 (38億円) を実施したことが赤字計上の主要因



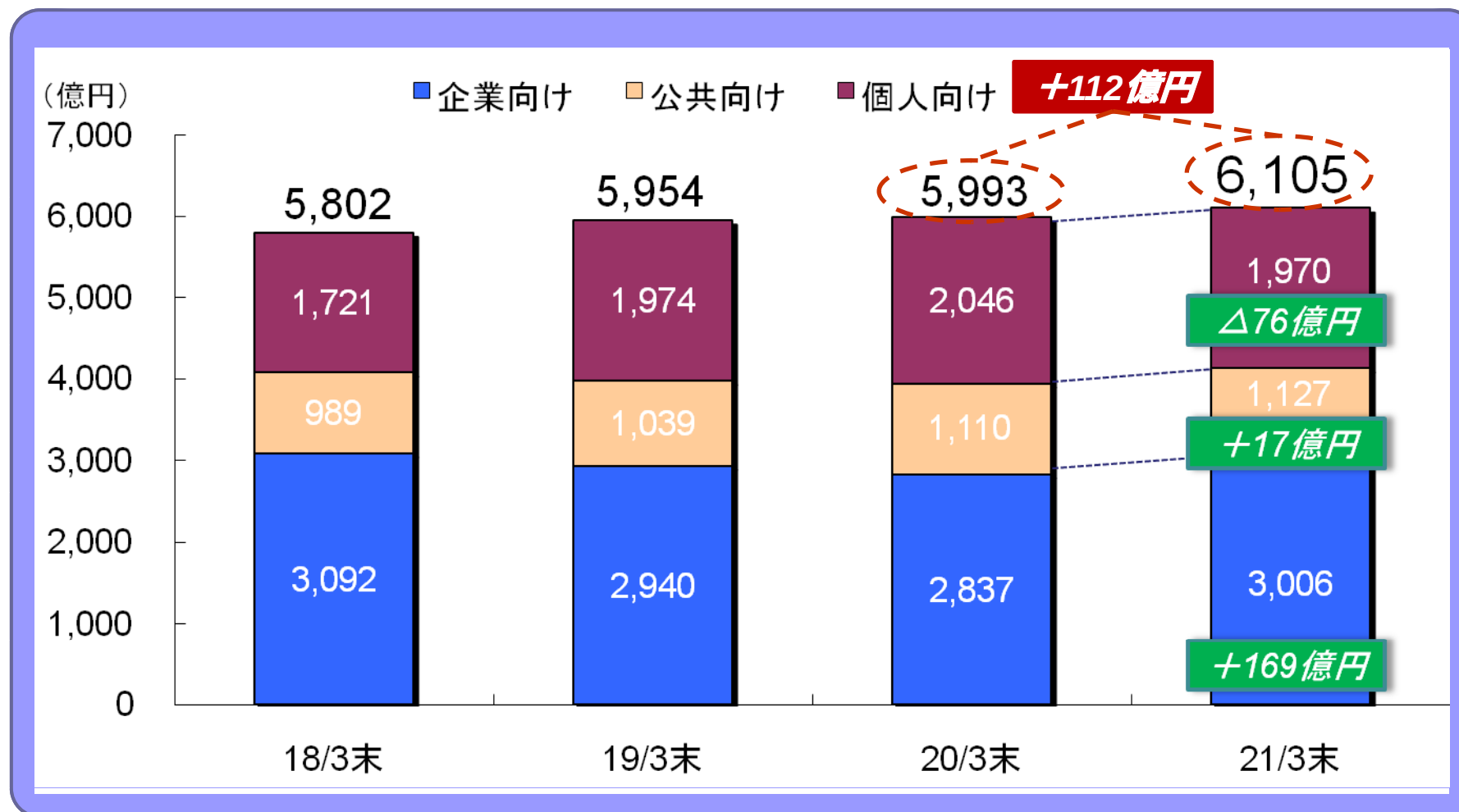
預 金

□預金残高は個人・公共預金が増加した結果、前年比+225億円増加



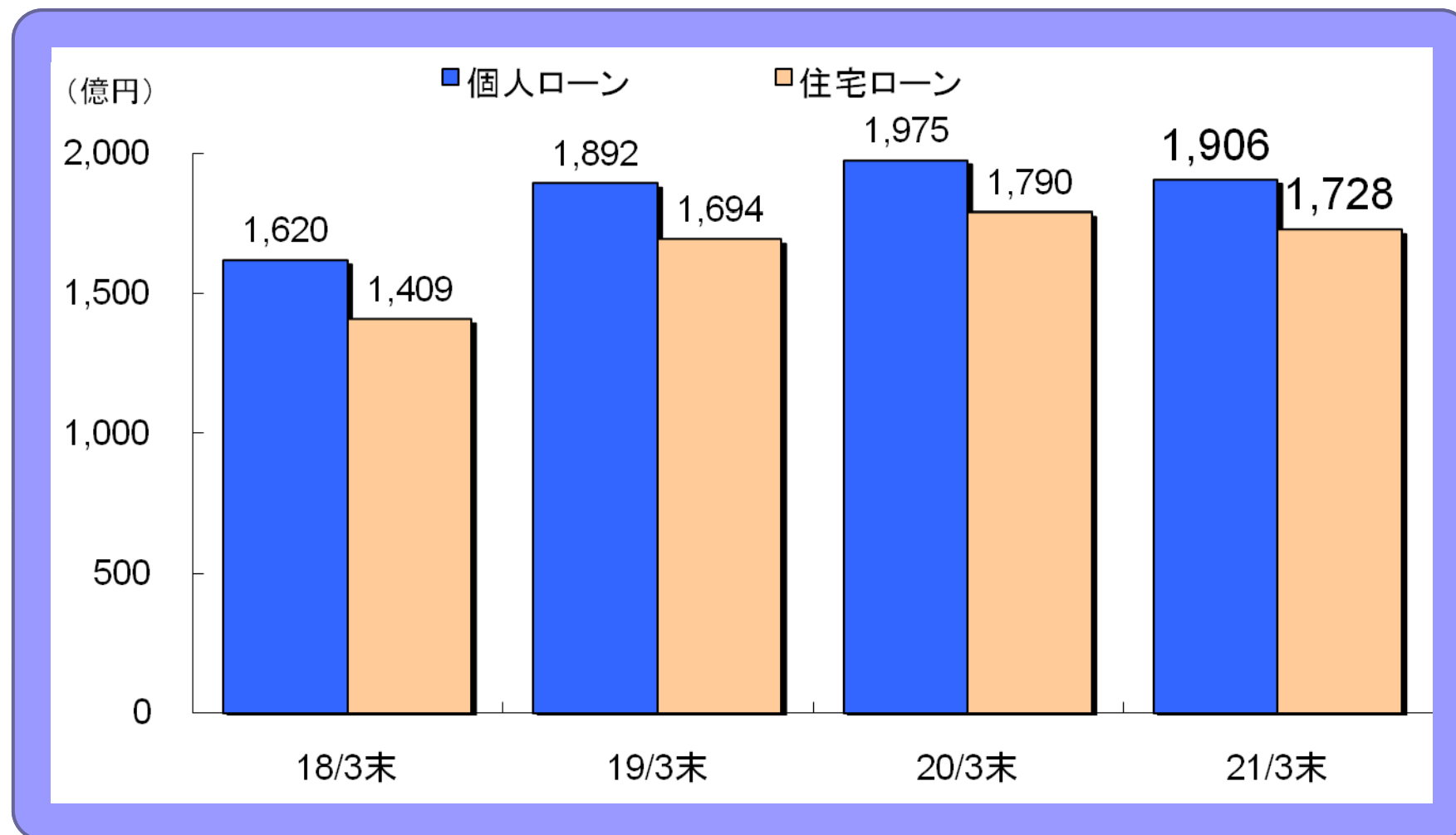
貸出金①

□企業向け貸出や公共向け貸出が増加した結果、貸出金残高は前年比+112億円増加



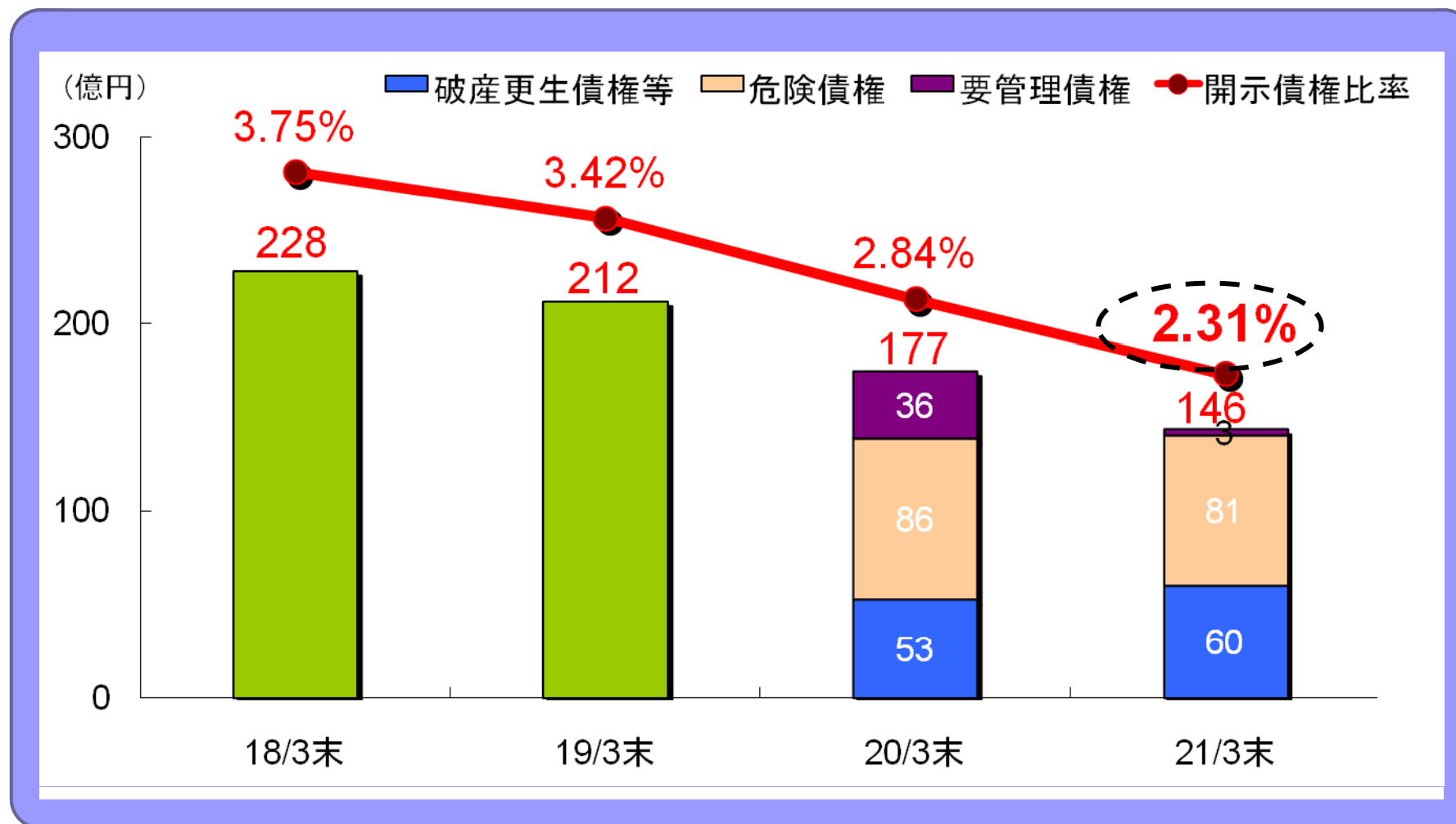
貸出金②

□個人ローン残高は住宅ローン残高の減少により前年比△69億円減少



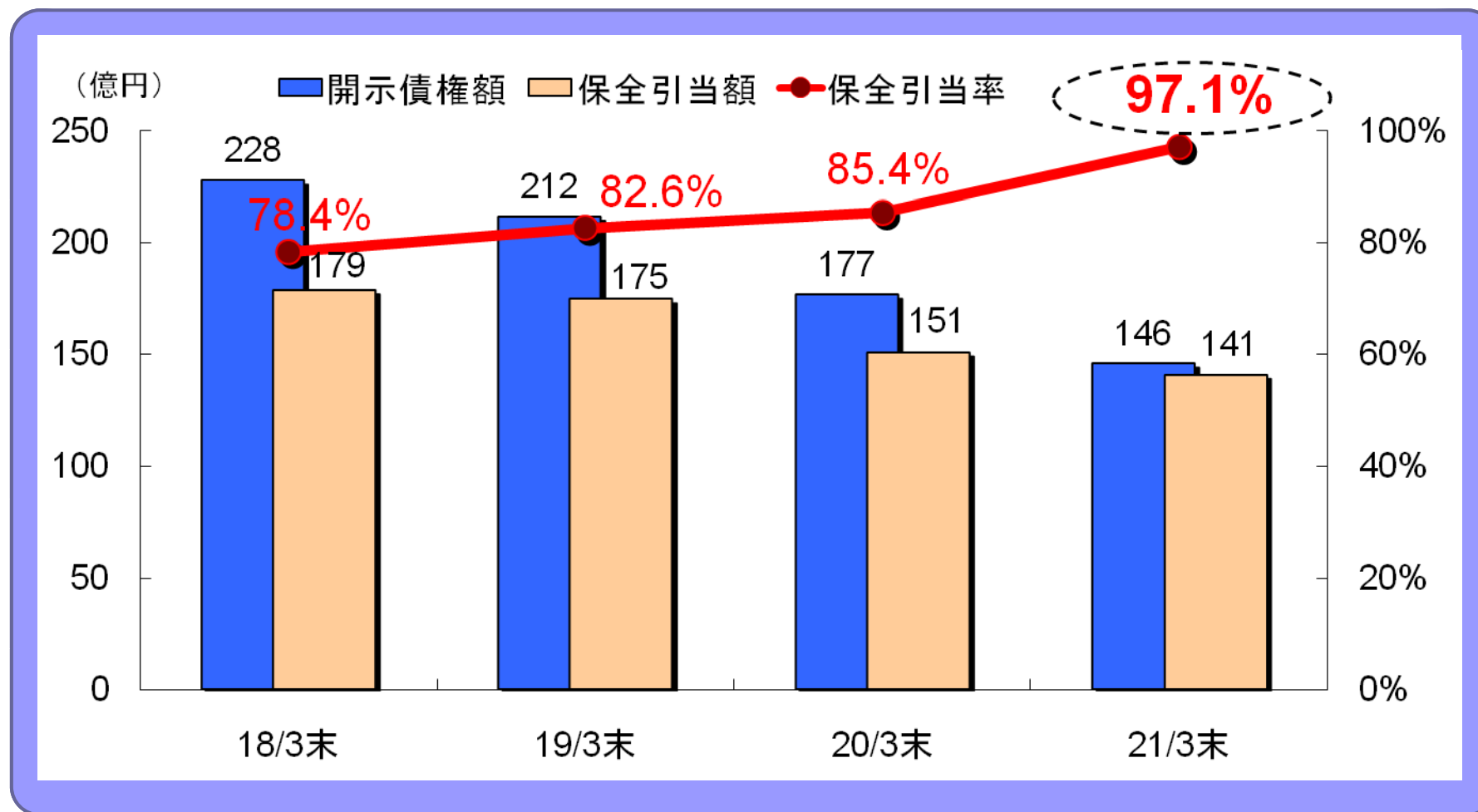
不良債権①

- 金融再生法ベースの開示債権額は、前年比△31億円減少
- 不良債権（開示債権）比率は前年比0.53ポイント改善



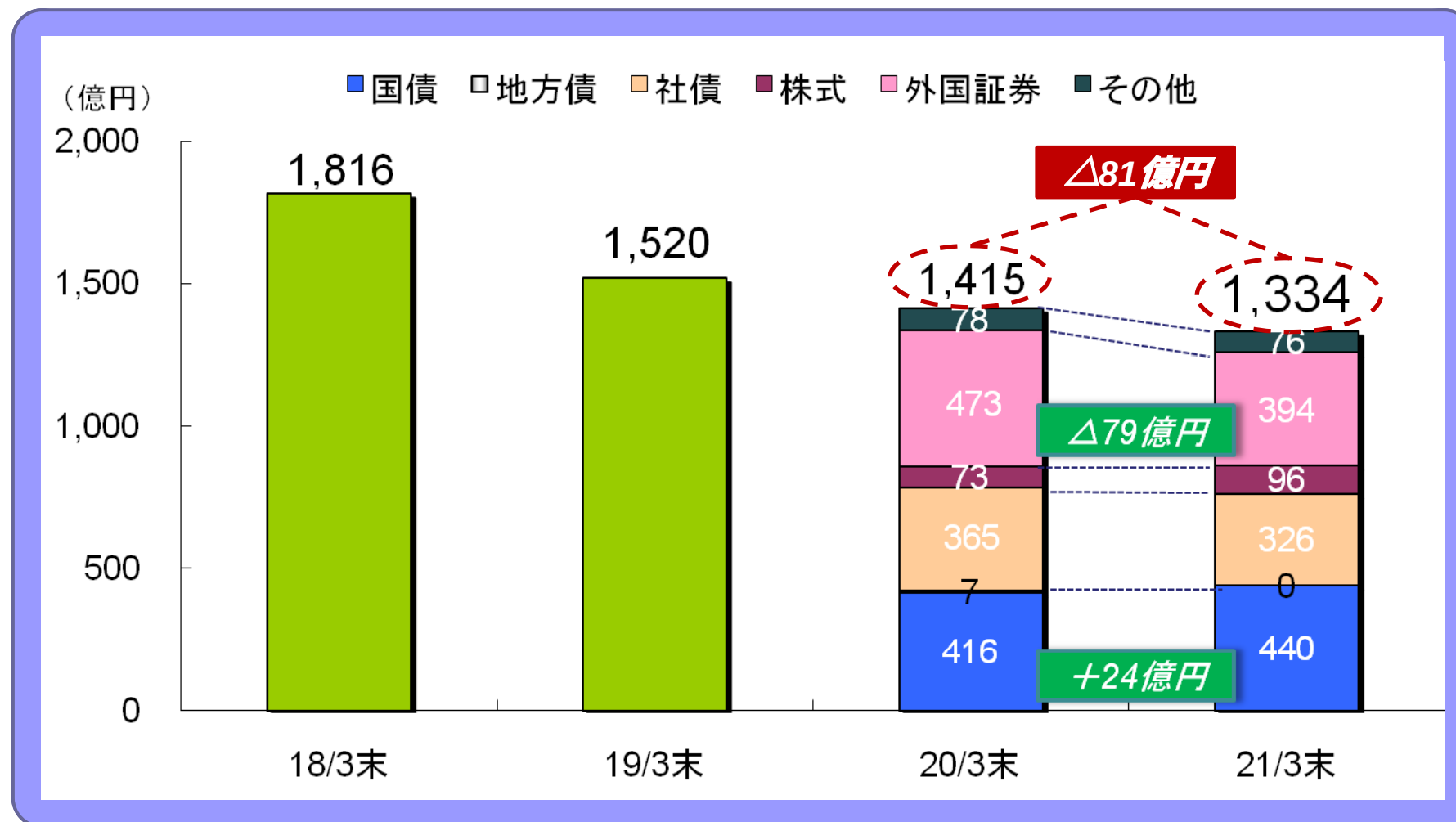
不良債権②

- 保全引当率は97.1%と前年比+11.7ポイント向上
- 不良債権へ万全な備えを実施



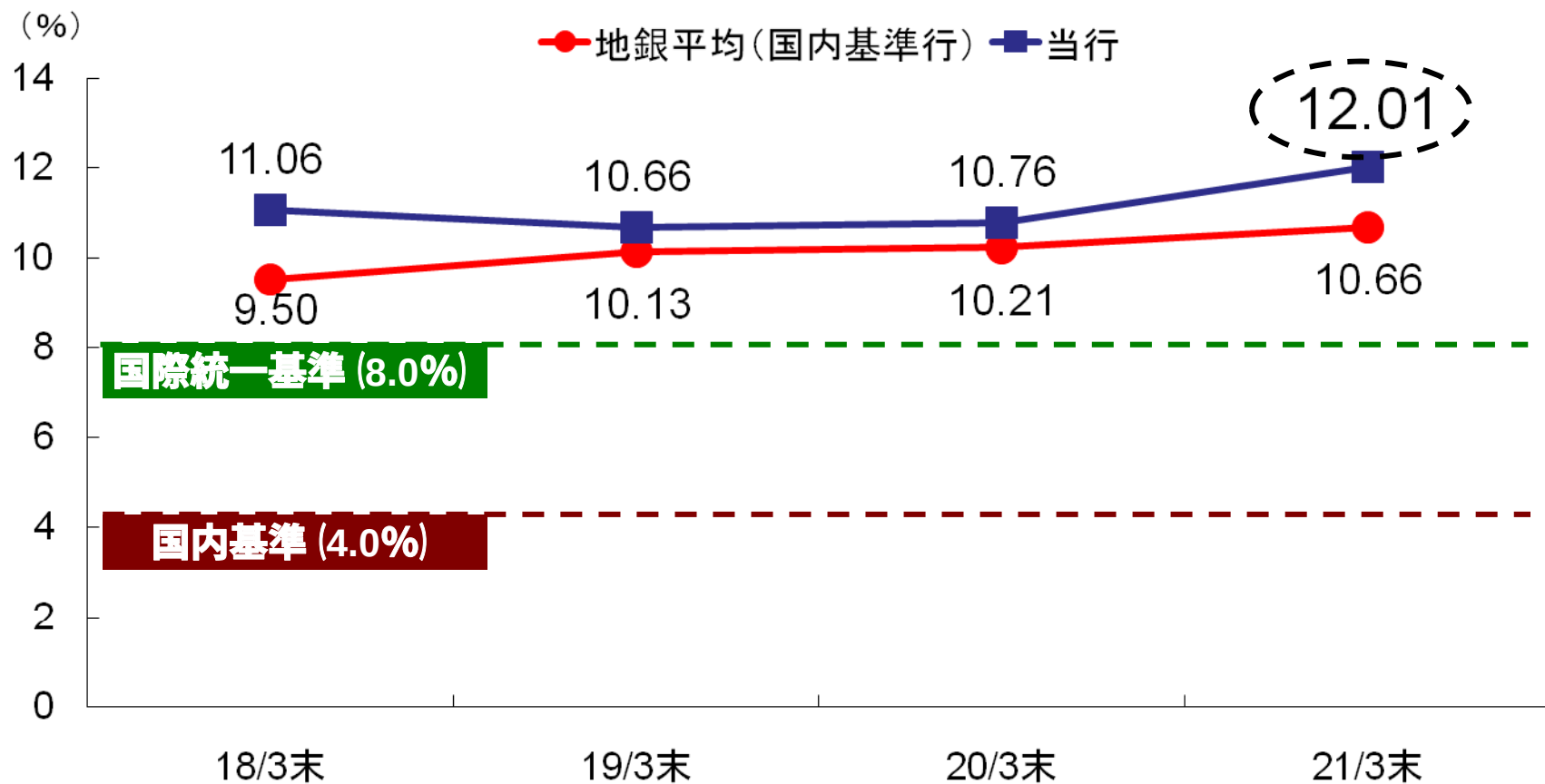
有価証券

□有価証券残高は前年比△81億円減少の1,334億円



自己資本比率

- 自己資本比率は12.01%と前期末比1.25ポイント上昇
- 地銀平均を上回る水準であり、健全性を十分確保



株価推移

□当行の株価は株式市場の混乱の影響が少なく比較的安定して推移

